一般質問

第６回定例会（平成 28 年 12 月）

▼４名の議員より一般質問がありました

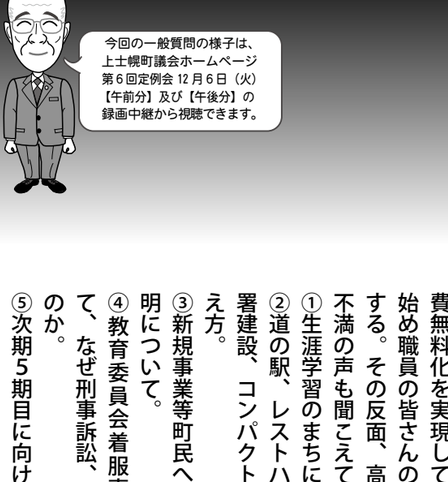
今回の一般質問の様子は、上士幌町議会ホームページ第６回定例会 12 月６日（火）【午前分】及び【午後分】の録画中継から視聴できます。

竹中町長の４期最終年度に当たって、行政運営の成果と課題について

伊東　久子　議員

問 竹中町長は、４期16年にわたり上士幌町のトップとして基幹産業、福祉の向上、子育て支援、ふるさと納税等政策の実現をしてきた。ふるさと納税ではメディアに取り上げられるなど全国的に注目された。特に子育て支援では国に先駆け、こども園の無料化、高校生までの医療費無料化を実現してきた。町長始め職員の皆さんの努力を評価する。その反面、高齢者からは不満の声も聞こえている。
①生涯学習のまちについて。
②道の駅、レストハウス、消防署建設、コンパクトシティの考え方。
③新規事業等町民への周知、説明について。
④教育委員会着服事件について、なぜ刑事訴訟、告訴しないのか。
⑤次期５期目に向けて出馬の考えがあるのか。
これまでの成果と今後の課題についてお聞きする。

答 ①中高年齢者が希望に応じて地方や町なかに移り住み地域住民と交流しながら健康で活動的な生活が出来ることを目指し、コンサルタント会社に委託し計画を進めている。
②道の駅・ナイタイ高原牧場レストハウスは基本計画策定検討委員会を設置して作業を進め、現在検討中である。消防署は病院や役場に隣接した町なかが最も適していると考えている、消防団とも協議を重ねており、一定の方向性が出されつつある。
③全町民に対する報告会など、要所要所で行っているが、町長のみならず、役場と町民、職員と町民すべてがいかにして距離を縮めるか、関係をどう構築していくか十分考えていく必要がある。
④全額返済され懲戒免職となっており、社会的制裁を受けていることから弁護士に相談をし刑事告訴しないと判断したところである。
⑤後援会からの要請が来ている。まだ、回答はしていないが熟慮した上で早めに結論を出したい。



伊東　久子　議員

医療費の減免制度の充実を

山本　和子　議員

問 「わずかな年金等で生活するのがやっと、病院代を払うのが大変」という方が多くいる。国も平成22年より減免の基準を設け、該当者に対し半額補助している。町の「医療費の減免要綱」を見直し、利用しやすくするべきである。
①国の規則のように、「事業の休廃止や失業による収入減」も対象にするべき。
②町の要綱には生活困窮者は対象となっていないが、苫小牧市のように対象にするべき。
③制度の周知をきちんと行うべき。

答 ①対象にするように要綱の改正を図りたい。
②国保会計が大変厳しいことから、独自の基準を設けることは、厳しい。今後も現行制度の運用で対応していく。また、通常の福祉の中で十分対応できると考える。
③町の広報やホームページ、保険証の更新時などにも周知している。

安心できる国民健康保険制度のために

山本　和子　議員

問 平成30年度より国民健康保険の都道府県化が決まったが、保険料の引き上げ、受診の抑制につながるものである。
①各自治体の標準保険料試算額が公表されたが、大幅な引き上げになっている。道に対し、高すぎる保険料にならないように要望するべき。
②国は平成29年の財政支援を3400億円の予定額から減らす方向であるが、きちんと財政支援をするように要望するべき。
③特定健診等より一層予防に力を入れるべき。

答 ①今回の試算は相当問題があると強く伝えており、４月に修正した試算額が出る。急激な引き上げにならないようにしっかり要望する。
②全国知事会、市長会、町村会の連盟で緊急書をまとめて提出している。
③健康寿命を延ばす具体的な施策を講じる。健診対象者の受診状況や健康状態を分析し、効率かつ継続的に勧めていく。

山本　和子　議員

災害に強いまちづくりのために

山本　和子　議員

問 ここ最近、予期せぬ災害が多発している。自ら身を守る事も大切だが、町の防災体制は大丈夫か、再度点検・訓練も必要である。
①防災計画は平成25年に全面改正しているが、見直しが必要ではないか。
②町内会の防災組織の状況は。
③避難所の確認、役場庁舎や町内会の役割等の確認は。
④備品、機材等の確保は十分か。
⑤日常的に「見守り、助け合いの町づくり」が大切であるが十分か。

答 ①平成28年６月に一部改訂。近年異常気象による災害が発生しており、検討する。
②３区の２は毎年、９区は今年度より訓練を実施しているが、引き続き支援を強めたい。
③平成27年福寿協会と避難利用の協定書を締結した。今後、生涯学習センターや認定こども園も避難所と位置づけて対応する。
④優先度の高いものから計画的に購入している。
⑤行政区長の方々と「自助・共助」それぞれが効果的に推進できるように検討する。

安心して暮らせる町づくりについて

野村　恵子　議員

問 ①８月17日から２週間あまりで十勝地方に４つの台風が上陸し甚大な被害をもたらした。町内においては、至る所の林道が倒木、土砂などで通行止め、また、音更川の萩ヶ岡橋が傾き通行出来ないなど特にこの橋を利用されてる近隣の農家さん達は大変不自由な思いをされている。早急に直す事は出来ないものか。
②この台風により、観光シーズンのかきいれ時に糠平の温泉街に足を運ぶ人が激減した事に伴い、10月に糠平温泉宿泊クーポン券を発行したが、どれだけの利用があったのか。糠平地域全体を考え宿泊だけではなく、幅広く利用可能な事業と出来なかったのか。インターネットでの募集だったがネットの出来ない人の事も考慮すべきでは。発行枚数の１％でも町民向けに

議員さんのひと言

◆議員の主な役割は行政活動が町民の意思に適切に対応しているか、監視の役割を付託されていると思っていますが、昨年の教育委員会の不正流用問題は大変残念な事でした。二度とこうした問題が起こらないように、徹底した改善策を議会からも提言しなければならないと思っています。

【佐々木守議員】

議会だより（かみしほろ）
開かれた町民みんなの議会をめざします
編集：上士幌町議会 議会だより編集特別委員会
第174号　平成29年２月

野村　恵子　議員

③地域防災対策については、災害協定、平成27年9月1日付けで福寿協会と福祉避難場所の施設利用に関する協定を締結し、福祉避難場所として指定している。お互い面識があって、相互扶助、助け合いということが、安心安全の意味からも大事なことで、まずは町内会にも入って頂きたいというふうに思う。避難場所の案内板については、わかりやすくするという意味では、それも大事な手法だと思うので十分検討させていただく。

あったら良かったのでは。

③第5期上士幌町総合計画が作成され、第3章安全で快適に生活できる町として、防災の所でどの程度各施策が実施されているのか。民間賃貸住宅がふえているが、入居者の町内会加入が少なく災害発生に備えた地域住民の自主防衛組織化や住民協力による救助・救援活動が停滞するのでは。災害非常時の避難場所の案内看板を各地域ごとに設置してはどうか。

答①町道勢多鉱山線の萩ヶ岡橋については、橋脚1基及びその両端の橋桁80メートルが使用不能な状態となっており、国の災害復旧事業の査定を経て復旧事業費を確定し、平成29年度より復旧工事を行っていく予定。完成予定は平成30年秋ごろとなる。

②宿泊割引券先着1000名分が早々に終了し、11月25日現在811名利用。糠平地域がかなりダメージを受けるのではないかと、これに対する危惧のほうが強かった。町民、町外含めて糠平に行ってもらいたいという思いがそこにあり、日常の中で安定的に糠平の観光が振興するように、手立てはこれからも講じていきたい。

今後における上士幌町の農地基盤整備のあり かたについて

山本　弘一　議員

問本年の天気は、春先は晴天も多く、干ばつ気味で推移しましたが、7月に入ってからは、曇天、雨の日が多くなり、8月の台風7号、11号、9号、10号等が直撃し、川の氾濫、橋の崩壊、道路の寸断等近年に無い被害をもたらした。更に、農地、農作物の冠水被害も著しく、防除等管理作業にも、大きな支障をきたした。その影響は収穫期までおよび、収量の減収にもつながった。そこで、町としては土地所有者、地域、農協等含めて必要性を検討し、明渠排水、暗渠排水等を国、道の事業により整備すべきと思うが町長の考え方を伺いたい。

答収穫期を目前に襲った台風7号、11号、9号、10号被害を受け、町では急を要する農地の冠水対策、農用施設の復旧工事、町費をもって迅速に対策をしている。現在、道営農地整備2地区とし、市街地周辺、上音更、勢多地域を道営農道整備事業1区として北門、東居辺、清水谷を、上士幌北地区国営かんがい排水事業としてサクシュオルベツ川流域、清水谷、萩ヶ岡から市街地までを実施中である。平成29年度より東居辺地区道営農地整備事業として、北門、萩ヶ岡、北居辺、東居辺で実施予定である。さらに、国営総合農地開発事業北門地区として北門、萩ヶ岡、東居辺の一部を実施した事業は老朽化に伴い、更新整備事業の要望、地域課題の把握、事業エリアの設定を予定している。今後は、地域の実情に合った農地基盤整備事業に力点をおいて取り組んでいく。

平成28年度 議員道外研修 レポート

平成２８年１０月２５日から２８日の３泊４日の日程で道外研修を行った。

◆１０月２５日

研修地：栃木県宇都宮市「道の駅うつのみや ろまんちっく村」

研修内容：道の駅の取り組みについて

「道の駅うつのみや ろまんちっく村」は滞在体験型ファームパークとなっており、地場産品の購入、地場産品を活かした食の提供、遊びや体験もでき、また温泉や森林浴等、幅広い方々が楽しめる施設である。市民の余暇の充実や健康増進のための施設であるとともに、都市と農村の交流拠点としての役割を担っている。年間の入込利用者数は約１５０万人、売り上げは施設全体で年１８億円ほどということで、約２２０名の従業員を雇用しており、地域の大きな雇用の場となっている。規模的には参考とし難いが、事業内容・コンセプトは本町のめざすべき方向の参考となった。

◆１０月２６日

研修地：栃木県那須町「ゆいま～る那須」

研修内容：生涯活躍のまち（ＣＣＲＣ）の取り組みについて

那須町の雄大な自然の中に誕生した「ゆいま～る那須」は、（株）コミュニティネットが建設、運営している５棟７０戸のサービス付き高齢者向け住宅である。ひとりで暮らす気楽さと自由、共に暮らす楽しさのある場所、豊かな自然環境に恵まれた広大な土地を利用し、環境共生型の暮らし空間を目指している。

第１期工事が平成２２年１１月に完了し開設されているが、それまでの間に現地見学会、施設づくりや生活設計などに向けた検討会、「どう生きるか、人生百年社会へ」フォーラムの開催など入居者募集、入居環境づくりに向けた参加型の周到な事前作業が進められていた。

本町で生涯活躍のまちづくりを進めるにあたっては町民理解が大きなカギとなると思われ、徹底した理解活動・説明が必要と感じた。

◆１０月２７日

研修地：千葉県千葉市「スマートコミュニティ稲毛」

研修内容：生涯活躍のまち（ＣＣＲＣ）の取り組みについて

スマートコミュニティ稲毛は（株）スマートコミュニティが建設、運営している日本初のＣＣＲＣと言われている。高齢者・シニア向け新築分譲マンションとコミュニティ施設を併設し、医療・介護サービスも充実しており、アクティブな老後・セカンドライフを送ることができる施設となっている。直営レストランやバーがあり、また、図書や音楽鑑賞・カラオケの施設、ゴルフの練習コーナーなどもある。更に８０種類以上の各種文化・スポーツの教室、自主的なサークル・部活動なども開催されている。入居者も７００名と多く、都会ならではの比較的お金に余裕のある方の選択肢としては素晴らしいと思うが、相当額の財産や収入（年金等）がなければ生活はできないと感じた。

議員さんのひと言

◆十勝地方は大変穏やかな清々しい平成29年の年が始まった。昨年の年末は例年になく雪が多く、また夏は4個の台風が北海道を直撃し、大きな被害をもたらし、地球規模の異常気象の時代に突入したのかと心配され、多難な新年の幕開けを予測していた。しかし、予測は良い方に外れ、二週間ものあいだ何時ものの十勝晴れのほぼ快晴の天候が続いた。今年はこのまま良い天候に恵まれ、昨年の作物収量の落ち込みを取り戻し、さらに上積みしてほしいものだ。【中村侃嗣議員】

平成 28 年第６回 上士幌町議会定例会 会議結果

【会期】平成 28 年 12 月６日～12 月 16 日（11 日間）

※主な結果を掲載しています。

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決の結果
会議案第８号	監査請求に関する決議について	平成２８年１２月１６日	賛成８ 反対０	原案可決
意見書案第１２号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について			
意見書案第１３号	ＪＲ北海道への経営支援を求める意見書の提出について			
同意第１号	教育委員会教育長の任命について			同意
議案第７９号	上士幌町町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について			原案可決
議案第８０号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第８１号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第８２号	上士幌町学童保育所条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第８３号	財産の減額貸付について			
議案第８４号	平成２８年度上士幌町一般会計補正予算（第１３号） ⇒4483 万８千円を追加し 91 億 8703 万４千円に補正。			
監報告第５号	例月出納検査報告について		―	報告済

Photo ぎかい

元気ぴんぴん教室　議会見学

▲議員席に座る皆さん　すっかりなじんでます

▲議長席に座るだけでも大変ね

▲名刺を渡して議長からご挨拶

平成 28 年 11 月４日　元気ぴんぴん教室　議会見学の様子

▲恒例の議長とツーショット

議会だより編集特別委員会

委員	委員	副委員長	委員長	議長
佐藤	中村	野村	山本	杉山
	保	恵	和	幸
舜	嗣	子	子	昭

ぎかい日誌

12 月～2 月（14 日まで）

【12 月】
１日◆議会運営委員会
６日◆第６回定例会（１日目）
12 日◆総務文教厚生常任委員会
◆産業経済建設常任委員会
13 日◆議会運営委員会
16 日◆第６回定例会（最終日）
◆議会だより編集特別委員会

【１月】
26 日◆総務文教厚生常任委員会
（議員公開委員会）

【２月】
１日◆総務文教厚生常任委員会
２日◆産業経済建設常任委員会
３日◆議会全員協議会
◆議会運営委員会
９日◆議会運営委員会
14 日◆第１回定例会（１日目）

平成 28 年第６回 上士幌町議会定例会 会議結果

【会期】平成 28 年 12 月６日～12 月 16 日（11 日間）

※主な結果を掲載しています。

議案番号	件名	議決年月日	表決	議決の結果
所管事務調査報告	公共工事の調査に関すること ⇒産業経済建設常任委員会調査報告。	平成２８年１２月６日	―	報告済
意見書案第８号	「全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律」の早期制定を求める意見書の提出について		賛成 10 反対０	原案可決
意見書案第９号	国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書の提出について			
意見書案第１０号	国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書の提出について			
意見書案第１１号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の提出について			
承認第６号	専決処分の承認について ⇒一般会計補正予算（第 10 号）			承認
承認第７号	専決処分の承認について ⇒一般会計補正予算（第 11 号）			
議案第６４号	上士幌町農業委員会の委員の定数を定める条例の制定について			原案可決
議案第６５号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第６６号	上士幌町町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第６７号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第６８号	上士幌町行政区設置条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第６９号	上士幌町税条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第７０号	上士幌町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について			
議案第７１号	財産の取得について ⇒小学校用コンピュータ等一式			
議案第７２号	財産の取得について ⇒中学校用コンピュータ等一式			
議案第７３号	平成２８年度上士幌町一般会計補正予算（第１２号） ⇒７億 6765 万円を追加し 91 億 4219 万６千円に補正。			
議案第７４号	平成２８年度上士幌町国民健康保険特別会計補正予算（第３号） ⇒24 万円を追加し８億 8393 万６千円に補正。			
議案第７５号	平成２８年度上士幌町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号） ⇒71 万９千円を減額し 8498 万１千円に補正。			
議案第７６号	平成２８年度上士幌町介護保険特別会計補正予算（第３号） ⇒61 万５千円を追加し５億 5523 万２千円に補正。			
議案第７７号	平成２８年度上士幌町水道事業特別会計補正予算（第３号） ⇒167 万７千円を減額し２億 4962 万３千円に補正。			
議案第７８号	平成２８年度上士幌町公共下水道事業特別会計補正予算（第３号） ⇒1720 万７千円を減額し２億 3055 万円に補正。			
諮問第１号	人権擁護委員候補者の推薦について			適任
諮問第２号	人権擁護委員候補者の推薦について			

第１回定例会	2 月 14 日（火）	15 日（水）	3 月 3 日（金）
予算審査特別委員会	2 月 17 日（金）	20 日（月）	21 日（火）

議会の見学をしよう　まちづくりをこの目で見よう　ネットでも、議場でも
http://www.kamishihoro.jp/gikai/